

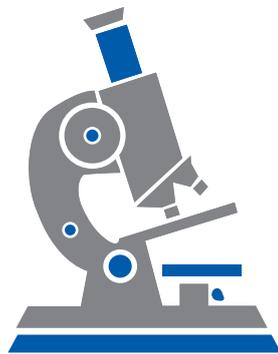
■ 塗料用防かび・防藻剤

ハイテック

水系内部用

水系外部用

溶剤用



■ 塗料用防かび・防藻剤

バイテク

- ★ 温暖で多湿な日本の風土は、カビや藻類の生育に適しています。このため、我が国の生活様式は、古くからカビやその他の微生物と、深い関わりを持ってきました。酒・みそ・醤油などの発酵技術は、カビとの付き合いから生まれた、我が国の代表的な生活の知恵といえます。また、開放的な構造を持つ日本家屋は、梅雨時期のじめじめを防ぎ、住居をカビの汚染から守ってきました。
- ★ しかし、近年になり建物のコンクリート化、新建材・アルミサッシなどの普及によって建物の高気密化が進み、湿害が深刻になってきました。湿害は、結露およびカビの発生に始まり、建物内外装材の汚染・劣化を引き起こし、さらには喘息・アレルギーなど居住者の健康にも障害をもたらします。この他、造成地に建てられた住宅の外壁では、藻類発生による緑化汚染が問題となっています。
- ★ バイテクは、現場で各種塗料へ簡単に混入でき、塗膜に優れた防カビ・防藻性を付与します。

カビで汚染された室内

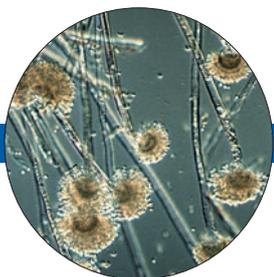


藻が発生した外壁



代表的な微生物

カビ

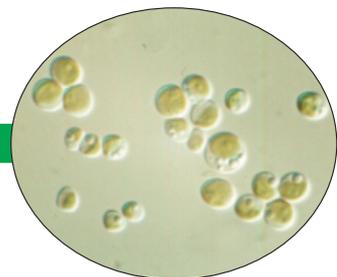


アスペルギルス属（黒カビ）



ペニシリウム属（青カビ）

藻



クロレラ属（緑藻類の1種）

水系内部用塗材・塗料には
**バイテク水系
内部用**

水系外部用塗材・塗料には
**バイテク水系
外部用**

溶剤系塗料には
**バイテク
溶剤用**

- バイテクは、強力な防カビ・防藻性付与剤です。●
- バイテクは、すぐに使える現場混入方式です。●
- バイテクには、タイプがあります。●

バイテクの防カビ試験

| 試験方法 | 試験期間 | 試験菌 |
|-------------------------|----------------------------|---|
| JIS Z 2911 カビ抵抗性試験 | 3週間 | アスペルギルス ペニシリウム クラトリウム オーレオパシジウム トロコデルマ |
| | | |
| ビーズコートに バイテク水系内部用を添加 | ラフンEMエナメルに バイテク水系外部用を添加 | ラフンウレタンエナメルに バイテク溶剤用を添加 |
| | | |
| 市販のエマルジョンペイント | 市販の水溶性エナメル | 市販のポリウレタン樹脂エナメル |

バイテクの防藻試験

| 試験方法 | 試験期間 | 試験菌 |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 寒天培地法 | 3週間 | クロレラ プレウロコックス プロトコックス |
| | | |
| ラフンEMエナメルに バイテク水系外部用を添加 | ラフンウレタンエナメルに バイテク溶剤用を添加 | |
| | | |
| 市販の水溶性エナメル | 市販のポリウレタン樹脂エナメル | |

用途

- かび・藻の発生している内外壁の改装
- 浴室や食堂など、かび発生箇所の塗替え
- 建物内外装のかび・藻対策

バイテク水系内部用



バイテク水系外部用



バイテク溶剤用



適合製品

| 種別 | 品名 |
|----------------------------------|---|
| つや有り合成樹脂 エマルジョンペイント | AEP クリーン 70G つや有り |
| 低 VOC・低臭形 合成樹脂エマルジョンペイント | AEP クリーン 70G シリーズ (7分つや・5分つや・3分 つや・つや消し) AEP クリーン 60 |
| 低 VOC・低臭形・低汚染性合 成樹脂エマルジョンペイント | AEP モダン Si |
| 水性反応硬化形 エマルジョン塗料 | 水性モルコン |
| 低 VOC・低臭形 ビニルクロス塗替用塗料 | クロストップクリーン |
| 低 VOC・低臭形 内装用仕上塗材 | ラフン内部用 スズカジュラク |
| 低 VOC・低臭形・低汚染性 内装用仕上塗材 | ラフンフレッシュクリーン ラフンフレッシュゆずはだ |
| 結露防止仕上塗材 | スズカ防露 |
| 低 VOC・調湿形 内装用仕上塗材 | 調湿クリーン |

| 種別 | 品名 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 高耐候性ラジカル制御形 水系塗料 | ウォールバリア水性シリーズ ウォールバリア弾性シリーズ |
| 環境対応型塗料 (水性反応硬化形) | エコシリーズ ユニシリーズ |
| 超撥水ラジカル制御形 つや消し塗料 (水性反応硬化形) | ビーズコートシリーズ |
| 水性1液反応硬化形 アクリル樹脂系塗料 | ラフンEM エナメル |
| 超低汚染高耐候性2液反応 硬化形水性無機系塗料 | 水性セラフレックスシリーズ |
| 水系屋根用高口射反射率塗料 | クールトップシリーズ (水系) |
| 薄付け仕上塗材 | スズカリシン ラフンシリカリシン ラフン弾性リシン |
| 厚付け仕上塗材 | ラフンスタック ラフン弾性スタック |
| 多機能仕上塗材 | ビューレ ビューレつや消し ビューレタイル |
| 高耐候性多機能仕上塗材 | セラビューレ セラビューレつや消し セラビューレタイル |

| 種別 | 品名 |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 合成樹脂調合ペイント (弱溶剤系) | エスコートホープ DX エスコート ECO |
| 特殊アクリル樹脂塗料 (弱溶剤系) | アクリルバーン |
| アクリル樹脂系非水分散形 塗料 (弱溶剤系) | ニューモルコンシリーズ |
| 特殊変性シリコン樹脂系非水 分散形塗料 (弱溶剤系) | 1液ワイドビーズコート Si |
| 自己架橋弱溶剤形樹脂塗料 | 1液ワイドウレタン 1液ワイドシリコンα |
| 高耐候性弱溶剤2液形 反応硬化樹脂塗料 | ワイドエポーレ シリーズ |
| エポキシ変性ポリウレタン樹 脂塗料 (強溶剤系) | エポーレ |
| 弱溶剤系アクリルシリコン樹 脂形屋根用塗料 | 1液ワイドルーフェラ Si |
| 高耐候性ラジカル制御形 弱溶剤系塗料 | 1液ワイドウォールシリーズ ワイドエポーレウォールシリーズ |
| アクリル樹脂系非水分散形 塗料 (弱溶剤系) | スズカ FP |

● バイテクは、クリヤー塗料・スキンなどには使用できません。

内部仕様

| 工程 | 内容 |
|-------|--|
| 下地処理※ | ●ブラシ・皮すきなどを用い、劣化塗膜を除去する。 ●必要に応じて、ホワイトナーをブラシ・はけ・ローラー・ウエスなどで塗布し、下地の汚れやかびを漂白除去する。 ●濡れウエスで十分に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去した後、16時間以上養生する。 ●カビテッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除菌する。 |
| 下地調整 | ●巣穴・段差・目地などを合成樹脂エマルジョンパテで補修する |
| 下塗り | ●所定の下塗材を塗装する、 |
| 上塗り | ●仕上塗材・塗料 + (バイテク水系内部用 または バイテク溶剤用) を塗装する。 |

※ホワイトナー・カビテッドのご使用の際は、BIO SERIESのカタログをご参照ください。

外部仕様

| | |
|------|---|
| 下地処理 | ●高圧洗浄機・ブラシ・皮すきなどを用い、かび・藻類・劣化塗膜を除去する。 |
| 下地調整 | ●巣穴・段差・目地などをラフトンカチオンSCフィルターで補修する。 |
| 下塗り | ●所定の下塗材を塗装する、 |
| 上塗り | ●仕上塗材・塗料 + (バイテク水系外部用 または バイテク溶剤用) を塗装する。 |

使用方法

◎塗料(15kg~20kg/石油缶)1缶に、バイテクを1本(180kg)添加し、均一になるまでよくかきはんにしてください。

◎2液形塗料に使用する場合は、主剤へバイテクを添加し、よくかきはんだ後、硬化剤を混合してご使用してください。バイテク添加後の塗料はできるだけ早く使用し、長期保存は避けてください。

注)バイテクは、よく振ってからご使用ください。また、所定量を厳守してご使用ください。

容量

180g入り(ポリ容器)
×
12本入り/ダンボール

取扱い上の注意事項

■製品を正しく安全にご使用いただくために、下記事項を守ってください。

◎取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。

・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど

◎容器から取出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。

◎皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。

◎蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。

◎目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

◎誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。

◎取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。

◎容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない場所を定めて保管してください。

特に下記場所の保管は避けてください。

・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れがある場所など

◎捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。

●バイテク溶剤用、弱溶剤系・溶剤系塗料の取扱いは、上記取扱い上の注意事項および下記注意事項を必ずお守りください。

◎引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。

◎吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。

◎取扱作業場所には、局所換気装置を設けてください。

◎取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。

・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど

◎スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車輛などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。

また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。

◎臭いは、食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは、養生するなど、十分に注意してください。

◎容器から取出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。

◎火災時には炭酸ガス消火器・泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

塗装上の注意事項

◎下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)

◎気温5℃以下、湿度85%以上での塗装を避けてください。

◎冬期や雨天などで結露が生じやすい時、降雨・降雪が予想される場合は、塗装を避けてください。

◎塗料の取扱い時、塗装時は、換気を行ってください。また、塗装後の乾燥のために、換気を十分行ってください。

◎水系塗料の塗装に用いた、はけ、ローラーなどの用具は早めに水洗いしてください。弱溶剤系・溶剤系塗料の塗装に用いた、はけ、ローラーなどの用具の洗浄には、専用のシンナーをご使用ください。

◎塗料は開缶後よくかき混ぜて、中味を均一にしてからご使用ください。

◎塗装後、塩ビ材質(レザーシート)などの応接セットが塗面に接触しますと、可塑剤の移行により塗膜が塩ビ材質に付着し剥離することがありますので、応接セットや建具などは直接塗膜に触れないようにしてください。

◎材料の保管は、極端な低温(5℃以下)、高温(40℃以上)を避け、屋内に保管してください。

◎バイテクを添加した製品の塗装仕様は、適合製品のカタログ等をご参照ください。

◎カタログに記載の用途以外には使用しないでください。

◎詳細な内容が必要なおときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

22/07

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

